

# 西多摩出身 Jリーグ 夢語る

## 青梅JCCが チャリティーイベント

青梅青年会議所は15日、西多摩出身のプロサッカー選手3人を招き「夢・絆」を開催。

青梅市出身のJリーガー、西多摩出身のプロサッカー選手3人を招き「夢・絆」を開催。

の過程に意味がある」とした。

い頃はドリブルをたくさんして」と子どもにアドバイス。田中選手は「みんながプレーしているグラウンドからプロになった。そういうチャンスがあることを知ってほしい」と後輩へエールを送った。

田中選手は「(小林選手が所属した)松林少年SCはすごく強かった。個人的ではなく、チームとしてライバル意識はあった」と思い出を語った。小林選手は「小学2年で初対戦した試合で、田中選手のスローインを僕がオウンゴールした」のが今も鮮明に残る記憶とし、「僕はライバル、大ライバルと思っていたが、(田中選手に)個人的にライバルと思われていなかったと知ってショックです」と肩を落とした。



小林祐三選手



田中秀人選手



上田康太選手

青梅市出身のJリーガー、西多摩出身のプロサッカー選手3人を招き「夢・絆」を開催。

子どもからの「どうやったらもっと上手くなりますか」の質問に、3選手とも口を揃えて「ボールにたくさん触ること」と答え、練習を積み重ねる重要性を訴えた。上田選手は「パスは大きくなって上手になる。小さくても上手になる。小さい頃にはドリブルをたくさんして」と子どもにアドバイス。田中選手は「みんながプレーしているグラウンドからプロになった。そういうチャンスがあることを知ってほしい」と後輩へエールを送った。

西多摩地域でしのぎを削っていた小学生時代を振り返り上田選手は「田中選手は足が速く、背中で引っ張るタイプ」と振り返った。

トークショーの最後には、選手がプレゼントを提供したじゃんけん大会も行われ、子どもたちの悲喜こもも

の歓声が会場に響いていた。

創業45年

**うなぎ**

福生くぼた  
☎551-9097  
☎551-0546

